

空飛ぶ“宝石” 名前は「翡翠」

「翡翠」の読み方はヒスイ。ご存知の通り、宝石の一種ですね。実は、陶史の森の池周辺でも「翡翠」を時々見ることが出来ます。それは、宝石の翡翠ではなく、空飛ぶ“宝石”とも呼ばれる「カワセミ」です。宝石のヒスイと同じ「翡翠」と書いて「カワセミ」と読みます。

カワセミは、背中が光り輝くエメラルドグリーン。頭には鱗のような模様があり、頬と同じ青色をしています。喉と耳のあたりが白く、胸と腹と目の下側が橙色。足は赤く、とてもカラフルです。体の大きさはスズメと同じぐらいですが、くちばしが長いぶん少し大きめで17cm程です。

池周辺の枝で、ジッと水面を見つめているカワセミを見つけました。すると突然、ものすごい速さで一直線に水中に飛び込み、一瞬のうちに魚をくわえ水面から飛び出し枝に戻りました。その間わずか1～2秒程。とにかく巧みに魚を捕らえるので、「魚狗、水狗、魚虎、魚師」という漢字表現もあるくらいなんです。

ところで、オスとメスの見分け方は下のくちばしの色です。写真上は黒いのでオス。写真下は赤っぽいのでメスなんです。ちなみに、バードウォッチングに一番適した時期は冬です。葉っぱが落ち、林の中も明るく見通しが良いからです。他にもたくさんの可愛い小鳥たちに出会うことができますよ。



森の日記

遠足でも大人気！

抜けるような青空の下、ひだ保育園年長さん16人がちびっ子広場を訪れました。約3kmの道のりを頑張って歩いてきました。まさに“遠足”ですね。たくましくなるぞ！リュックサックを下ろしたら早速、大型遊具で思い思いに冒険タイム！元気な歓声が響き渡りました。

大型遊具が完成してから、市内外の保育園、幼稚園、小学校などからたくさん遠足に来てくれるようになり、平日でも大にぎわいです！



教室のご案内

12月

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）
12月25日(日) 午前9時～11時30分
初冬の野鳥を観察します。

平成29年1月

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）
1月22日(日) 午前9時～11時30分
真冬の野鳥を観察します。

冬季は木々の葉っぱが落ちているので、野鳥を観察するにはベストシーズンと言えます。ご希望の方に双眼鏡や野鳥図鑑を無料で貸し出しています。ぜひお越しください。

お知らせ

12月29日(木)～1月3日(火)は、休園します。

